

オンライン交流授業（香港日本人学校大埔校）

豊田小学校 1年担任 園山 亮佑

10月18日（水）に豊田小学校1年生と香港日本人学校大埔（タイポ）校の3年生との交流授業を行いました。

1年生が9月に行った道徳の教材で外国の文化について扱い、そこから膨らませて香港との交流会を企画しました。

方法

各クラス担任がZoomで接続
スライドを活用して発表を行う。

授業では、それぞれの学校の紹介を行い、香港の行事や食事、観光地などを紹介してもらいました。

豊「豊田小学校には、1年生だけで150人。全校で850人の子供がいます。」

大「850人！すごいそんなにいるの。」

豊「学校で毎日、給食を作っています。ココア揚げパンやコロッケバーガーが人気です。」

大「ココア揚げパンいいな～。おいしそう。」

といった学校の様子の違いに驚く姿がありました。

豊田小のことを紹介すると、大埔校の子供たちから感想や質問を言ってくれました。

大「1年生なのに上手に発表していてすごいです。」

大「体育館のエアコンは、冬も使えるのですか。」

豊「冬でもエアコンであたたかくなります。」

といったやり取りがありました。

また大埔校からの香港の様子を紹介してもらうと、

大「大埔校では、ハロウィンに仮装をします。」

豊「え～、いいな。私たちもやりたい。」

大「香港にはスターフェリーなどの乗り物があります。」

豊「いろいろな乗り物があるんだ。2階建てのバスって乗ったことない。」

大「香港にはヤムチャの文化があります。お茶と一緒に小籠包や胡麻団子などを食べたりすることがあります。」

豊「おいしそう。いいな～私たちも食べたい。」

と香港の文化や生活の様子を楽しそうに見たり、声をあげたりしていました。



豊田小の1年生も質問をしました。

豊「香港の天気はどんな感じですか」

大「先週までは雨が降っていて、台風も来ていました。」

と聞き、「日本と一緒だ」「台風が来るんだ」と驚く姿もありました。



豊「日本人学校では、どんな授業をやっていますか。」

大「毎日英語の授業をやっています。」

豊「人気のキャラクターはいますか。」

大「香港でもドラえもんが人気です」

と日本と同じ所や異なるところに興味をもつ姿がありました。

異なる文化の生活に触れ合うことで、子供たちの「もっと知りたい。」「実際に行ってみたい」といった気持ちがとても高まった様子が見られました。今回の交流のきっかけであった道徳の内容項目でもある国際理解についても、理解が深まった様子が見られました。

今回は、本校から派遣されている教諭が在任されている機会を生かし、授業を設定できました。他の学年も含め学校同士での交流をより増やせると自分たちの学校や地域の良さを児童が実感できるとともに、「もっと地域を大切にしよう。」「良さを伝えたい。」といった想いにつながるのだと感じました。